

共用プール建屋における エリアモニタの欠測について

平成26年4月24日
東京電力株式会社



1

共用プール建屋におけるエリアモニタの欠測について

【事象の概要】

4/22に共用プール建屋における外部放射線に係る線量当量率の測定において、4/19～4/21の期間についてエリア放射線モニタ（ARM）B系の指示値が欠測していることを確認した。

対象箇所は下記の通り

- ・ 3FLオペフロ（燃料貯蔵プール区域（北側階段付近））
- ・ 1FL監視操作室
- ・ 1FLキャスク保管エリア

【判明時の時系列】

- 11:25 指示値を確認している委託先より免震棟保安班にARM欠測している旨の連絡あり
- ～13:40 関係各所に確認したところ、欠測期間中の代替測定は実施できていないことを確認
- 13:40 1日に1回の測定が実施されていないことを確認。

ARM測定結果について

【線量率測定状況】

	4/18 9:00	4/22 10:00~10:15
3FL オペフロ	1.9 μ Sv/h	1.8 μ Sv/h
1FL 監視操作室	11 μ Sv/h	7.0 μ Sv/h
1FL キャスク保管エリア	16 μ Sv/h	20 μ Sv/h

4/18はARM読み取り値、4/22はサーベイメータによる測定値

欠測前の4/18と4/22の測定結果に有意な変動が生じていないことを確認した。

ARM復旧までの間、1回/日の測定を実施することとする。
(復旧は原因対策完了後に実施する予定。)

当該事象発生となった原因（工事内容）

工事件名：共用プール放射線モニタ監視ユニット取替および同関連除却工事
目的：エリア/プロセス放射線モニタB系を改造するため、仮設エリア/プロセス放射線モニタを設置、切替えを行うこと。

構成：エリア/プロセス放射線モニタA系
3FLオペフロ（低感度）、3FLハッチ区域、1FLハッチ区域、
B1FL主通路
エリア/プロセス放射線モニタB系
3FLオペフロ（高感度）、1FL監視操作室、1FLキャスク保管エリア

工事前：B系のエリアモニタは稼働状態、エリア/プロセス放射線モニタAは撤去済みであったため、A系のエリアモニタは不稼働状態。

4/18 工事実施：仮設エリア/プロセス放射線モニタをA系の電源につなぐため、A系の電源をオフにした。
結果、エリア/プロセス放射線モニタBの電源もオフとなった。

引き続き、調査を行い、原因と対策について検討していく。

(参考) 共用プールエリアモニタ及び制御盤 現場写真



燃料プールエリア



監視制御盤室



Cカスク保管庫



仮設エリアモニタ
ダスト&エリアモニタ



共用プールエリアモニタ盤